

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 3月 1日

事業所名 いきるちから3

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | ・活動内容をわけてスペースを確保している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | ・絵カードを使用して視覚的に示していき、特性に合わせるように配慮している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | ・毎月、会議を実施し、業務改善に向けて取り組んでいる。 ・ミーティングを定期的に行い、改善に努めている。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | ・職員で周知する機会を設けて、改善に努めるように取り組んでいる。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ・開所年度より事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務改善に繋げている。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | ・今後、必要に応じて外部評価の実施を検討していきます。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | ・2か月に1度のペースで内部研修、また外部研修の参加により支援の質を高めるように努めている。 | ・職員がそれぞれの専門性の研鑽に努めていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・契約時に面談の機会を設けて、アセスメントシートを基に聞き取りを行い、ニーズや課題に反映させている。 | ・アセスメントの質を向上させ、ニーズや課題分析の質を高めていきたいと思います。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | ・年齢に応じたアセスメントシートを活用している。 | ・定期的に見直し、年齢に応じたアセスメントシートを検討していきます。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | ・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | ・遊びの中にニーズや課題を取り入れ、個別支援計画に沿った支援を心掛けている。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | ・ミーティングや朝礼で情報交換をしながら、プログラムの提案、検討を行っている。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | ・同じ活動でも年齢や特性に応じて内容を工夫している。 | ・職員間で情報共有をしながら、幅広い活動ができるように工夫していきます。 |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・子どもの発達に応じ、集団適応・社会性の視点をもちながら個別支援計画を作成している。 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------------------|--|---|-----|---|---|--|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | ・毎朝、ミーティングを行い、その日の活動を共有、全員が把握できるように努めている。 | ・引き続き、前日や前回の様子を共有し、細かい変化に配慮しながら、支援の質を高めていきたいと思ひます。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | ・当日に報告の後、翌日改めて全体への共有を行っている。 ・緊急度の高い案件はその日のうちに確認して解決策を検討している。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | ・当日に記録を残すように努めており、遅くても翌日までには記録として残している。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | ・少なくとも半年に一回の見直しを実施している。 ・成長が著しい年齢のため、初めは短い期間で計画の見直しを実施している。 | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | | ○ | | ・現在、サービス担当者会議の実施はないが、機会があれば、柔軟に対応していきたいと思ひます。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | ・区役所からの問い合わせなど、その時の状況に合わせて対応している。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | ・医療的ケアが必要な子どもがいない。 | ・状況に応じて、柔軟に対応していきたいと思ひます。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | ・上記と同様。 | ・上記と同様。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | ・お迎え時に様子の確認、園に訪問して連携を図っているが、移行支援としての実績はない。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | ・該当児童がいれば、柔軟に対応していきたいと思ひます。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | ・他事業所と交流の機会もあり、情報共有をしている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | ・機会があれば、柔軟に対応していきたいと思ひます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | ・月に一度、子ども部会への参加をし、他事業所との情報交換を行っている。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | ・送迎時や面談など、話をする機会を設けている。 ・出来たことや悩み事など、話した内容は職員間で共有している。 | |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | ・送迎時、連絡帳、電話など、相手に合わせたツールで日頃の悩み事を聞き、相談等を行っている。 | ・必要に応じて、検討していきたいと思ひます。 | |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | ・契約時に説明を行っている。 | ・不明な点はその都度確認をして、不安を解消していきたいと思ひます。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | ・半年を目安に定期的にモニタリングを行い、個別支援計画を作成後、支援内容を説明し同意を得ている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | ・悩みや相談があった際はその都度、助言を行っている。 ・職員間でも検討をして、支援にも取り入れるように工夫をしている。 | ・日頃からコミュニケーションを図り、相談しやすい環境を整えていきたいと思っています。 ・悩み事に対して適切に助言が出来るように自己研鑽していきます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | ・現在、予定はしていないが、必要に応じて柔軟に対応していきたいです。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | ・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。 | ・迅速に対応が出来るように心掛けていきたいと思っています。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ・ブログを毎日更新し、その日の活動内容や活動のねらいを知らせている。 | ・定期的にアナウンスをして、活動内容や情報を発信していきたいと思っています。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | ・鍵付き書庫に置いて保管している。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | ・活動内容が視覚的に分かりやすくなるように示している。 ・相手に合わせて、伝達の仕方に工夫している。 | ・一人一人の子ども、保護者に合わせて、柔軟な対応を心掛けていきたいと思っています。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | ・ハロウインのイベントとして、地域事業所への訪問、交流の機会を設けている。 | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | ・マニュアルを設けて、各職員が常に観覧が出来るようにしている。 | ・周知を広めていき、各職員が訓練でも動きをとれるように進めていきたいと思っています。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | ・避難経路の確認、散歩などで歩行距離や状況を把握している。 | ・災害訓練の状況を変えて、色んなパターンを想定しながら実施していきたいと思っています。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | ・契約時に服薬、てんかん等の状況を確認している。 | ・対象の児童を受け入れる際には、状況確認と聞き取りをして、対応していきます。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | ・契約時にアレルギーの聞き取り、アレルギー源を除去することで対応している。 | ・アレルギーに対する知識を深め、万が一の時にすぐに対応が出来るように努めてきたいと思っています。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ・月に一度は報告会を行い、再発防止・改善に努めている。 | ・細かい事案も記録として残し、今後の対策に繋げていきます。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | ・コンプライアンスの確認を三ヶ月に一度、確認をしている。 ・研修としても取り組んでいる。 | ・研修を受けて、適切な対応を実践していきたいと思っています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | ・対象児童がいる場合は保護者に伝え、同意を得た上で対応していきます。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。